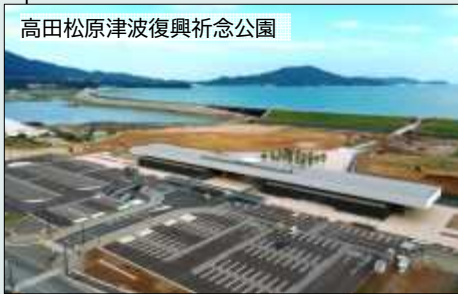
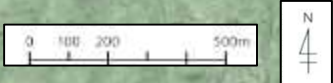


## 【資料5】今後の取組について

### 【まちの将来像】

陸前高田のまち(≒高田地区、今泉地区)は、**市全体の目標像を具現化した場です。**  
**陸前高田ICに近接した、中心市街地、復興祈念公園、農業テーマパーク等の特徴的な拠点が半径1km以内に集積し、新交通で結ばれ、多様でコンパクトな市街地を形成します。**





持続可能なまちへ

【今後の陸前高田】

復興事業終了後も、陸前高田では持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

2020(令和2)年度

- R2.4 市民文化会館オープン
- // 高田松原運動公園オープン
- R2.11 レッドカーペットプロジェクト植樹
- R2.12 発酵の里CAMOCYオープン【民間】
- R2.3 オーガニックランド一部オープン【民間】
- // 三陸道[陸前高田-仙台]開通

2021(令和3)年度

- R3.5 新市庁舎供用開始
- R3.6 オリンピック関連行事(聖火リレー)
- R3.7 高田松原海水浴場海開き
- // 県立野外活動センターオープン
- R3.8 フルーツパークオープン【民間】
- R3.12 三陸道全体開通[仙台-八戸]
- // 復興祈念公園(全体)完成

2022(令和4)年度

- R4年度内 ピーカンナッツ工場店舗オープン
- // ドーミーイン陸前高田着工【民間】
- R4秋 博物館オープン

2023(令和5)年度

- R5春 全国植樹祭(復興祈念公園)  
(※天皇陛下来市予定)

2025(令和7)年度

- R7年度 吉田家住宅母屋復元完成



三陸沿岸道路



高田松原海水浴場(震災前)



全国植樹祭イメージ

※宮内庁HPより



県立野外活動センター(広田半島)イメージ

## ①土地情報の整理、空き地バンクの制度化

【課題：空き地の維持管理／情報の見える化 等】

### **(1) 価格情報の見える化 [継続]**

⇒ 継続して地権者へ呼びかけ、価格情報を使って事業者へPR。

### **(2) 空き地の適切な維持管理の呼びかけ [継続]**

⇒ 継続して広報等で適切な管理を呼びかけ。

⇒ ふるさと納税返礼品の草刈り代行もPR。

## ②事業者へのPR、営業活動、マッチング

【課題：住宅地としての利用促進 / 用途地域の調整 / 助成制度の周知・改善】

### (1) 居住希望者へのPR [継続]

⇒事業者だけでなく市内や近隣自治体からの居住希望者へもPRしていく。

### (2) 用途地域の見直し [新規]

⇒マッチング促進のため、事業者ニーズをみながら、幹線道路沿道の用地等を事業系の用途地域へ変更(R4.6頃目標)。

### (3) 助成制度のPR [継続]

⇒助成制度をより積極的にPR。

### ③中心市街地の魅力向上(エリアマネジメント)

【課題: 中心市街地の魅力発信と人の誘導】

#### **(1)他の拠点と連携した魅力づくり[継続]**

⇒道の駅、オーガニックランド、カモシー等の拠点と連携した取組で、中心市街地へ人を誘導。

#### **(2)まちなか会・まち会社と連携した魅力化[継続]**

⇒充実した屋外イベント備品等を利用した各種イベント、花や緑の活用など、継続的な魅力化を検討。



## ④推進体制の検討

【課題：友好都市と連携した取組や、推進体制の再検討】

### **(1)友好都市と連携した土地活用の取組 [継続]**

⇒引き続きナゴノダナバンクの事業検討を官民連携で進めていく。

### **(2)関係機関や有識者への個別相談 [新規]**

⇒より実践的な動きとするため、当会議とは別に関係機関や有識者等へ個別相談等を実施。

### **(3)宅建業者との連携 [継続]**

⇒市内外の宅建業者と連携して可能性を広げる。